

# ONE WORLD Info

英語教育 通信  
2017 Autumn

特集

ONE WORLD  
わたしの使い方

巻頭エッセイ

異文化と出会うとき  
平田オリザ

新連載

英語教育なんでも相談室  
本多敏幸



教育出版

巻頭エッセイ

## 異文化と出会うとき

# 文化の多様性に思いをはせる



### 平田オリザ

1962年生まれ。劇作家・演出家。

劇団「青年団」主宰。こまばアゴラ劇場芸術総監督。大阪大学COデザインセンター特任教授。

異文化理解のための教育について、学生たちに最初に、以下のような話をする。

アメリカでホテルに泊まって、エレベーターで他人と乗り合わせて無言ということはない。「Hey.」なり「How are you?」なり、何か声をかける。あるいは声に出さないまでも微笑みあったりする。日本人はどうか？ 我が同胞の多くは、エレベーターに乗ると腕組みをして階数表示を見あげる。見なくてもエレベーターの箱が上っていくことは分かっている、どうもそこを見つめてしまう。

では、エレベーターの中で声をかけるアメリカ人はコミュニケーション能力が高く、声をかけない日本人はコミュニケーション能力の低いダメな民族なのか？ そんなこともあるまい。これは文化の違いである。アメリカという多民族国家は、狭い箱の中にいろいろな人が閉じ込められると、早く自分が相手に対して「私はあなたに敵意を持っていませんよ」ということを、声や態度にしてはっきりと表さないとストレス、

緊張感のたまってしまう社会なのだ。一方、私たち日本人は島国村社会でのんびり楽しく暮らしてきたので、そういうことをわざわざ声や形にして表すのは野暮だという文化の中で育ってきた。

これは文化の違いだから善し悪しではないし優劣でもない。これを優劣として考えるなら、150年前に遡ってお雇い外国人を雇って、コミュニケーションについて学ばねばならないわけだが、そういう話でもないだろう。

そんなものは恐れるに足らない。そんなものはマナーとして覚えておけばいい。アメリカでエレベーターに乗ったら「Hey.」「How are you?」なり言っておけばいいという程度なのだ。本当に君たちが畏れるべきは、謙虚になるべきは、文化の多様性だろう。地球の裏側に行けば、話しかけなければ失礼になる民族もあれば、話しかけたら失礼になる宗教や階級もある。その果てなき多様性に、どこまで思いをはせられるかが問われている。

撮影：青木司

もくじ

巻頭エッセイ 異文化と出会うとき

文化の多様性に思いをはせる 平田オリザ ..... 2

特集 ONE WORLD わたしの使い方

ICT 環境を活かしたデジタル教科書の活用 関田信生 ..... 4

誰にでもわかりやすい授業にするために 宮崎太樹 ..... 7

新連載!

英語教育 なんでも相談室 01

ライティングの指導について 本多敏幸 ..... 10

連載 とっておきの英語 14

I want you to do whatever you want.

It is your decision, Michael. It's your life. 野田小枝子 ..... 12

今ドキ英語事情 16

Sharing? Or Oversharing? ピーター J. コリンズ ..... 14

---

英語教育通信『ONE WORLD Info』2017 年秋号をお届けします。

今号では、巻頭のエッセイをはじめ、新しくスタートする連載など

『ONE WORLD』をお使いいただいている先生方にとって耳よりの情報がもりだくさんです。

ぜひご授業のあいまなどにお楽しみいただければと思います。

# ONE WORLD

## わたしの使い方

## ICT環境を活かした デジタル教科書の活用

### はじめに

本校では「次世代を担う人材育成」を目標に教育のICT化を推進している。全教室に無線LAN・プロジェクター・スクリーンが備えられており、教師も生徒もiPadを携帯して授業に臨む。私は常にこの環境を活かし、「一斉学習」「個別学習」「グループ学習」の3つの場面でICT環境を活用し、生徒が楽しく効率的に英語学習に取り組むことができるよう授業をデザインするようにしている。デジタル教科書(DT)はそうした授業の要となる教材である。

東海大学付属仰星高等学校中等部  
関田信生(せきたのぶお)



### ● レッスン名

1年生 Lesson 3 メイの好きなもの

### ● 単元目標

一般動詞とbe動詞の違いを理解し、両者を正しく使って自分や相手がすることや好きなものについて伝えたり尋ねたりすることができる。

### ● 指導計画

- Day 1-2 : 一般動詞の導入 (be動詞との違い・否定文の作り方) と練習
- Day 3 : 教科書Part 1の内容理解
- Day 4-5 : Part 1の復習、一般動詞の疑問文の作り方の導入と練習
- Day 6 : 教科書Part 2の内容理解
- Day 7-8 : Part 2の復習と名詞の複数形の導入 (-s, -es, -ies, -ves, 不規則等) と練習
- Day 9 : 教科書Part 3の内容理解 (本時)**
- Day 10 : Part 3の復習
- Day 11 : 教科書Part 4の内容理解
- Day 12 : Part 4の復習

本時はココ!

### 本時の流れ

#### Day 9 Lesson 3 Part 3 (pp. 40-41) の授業

- 導入 フラッシュカードによるPart 1, 2の復習 (10分)。
- 展開 Part 3の新出単語の意味と発音確認・本文の音読練習と意味確認 (15分)
- 発展 Activityの英文dictation (20分)
- 終了 宿題確認・次回予告 (5分)

#### 〔導入〕

挨拶のあと、iPadのFlashcardsというアプリケーションでスクリーンに教科書本文を日本語で表示し、手を挙げて英語で答えた生徒から着席していく(単語クイズを行う場合もある)。英文にまだ不慣れな段階では、日本語で意味を答える場合もある(図1)。



(図1) 和文カードと英文カード

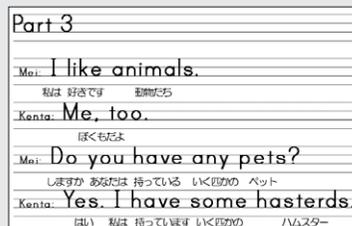
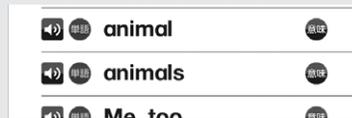
全ての英文の確認が終わると、再度英文を表示し、教師のあとについて音読練習を行う。

#### 〔展開〕

DTでpp. 40-41を表示する。教科書欄外に示された新出単語にカーソルを移動すると単語が枠囲みされる(図2)。



(左・図2) カーソルを合わせると枠囲みされる  
 (右上・図3) 新出語句の一覧画面  
 (右下・図4) 生徒は写してきた本文の新出語句の下に意味を書く



そのままクリックすると単語の一覧表に画面が変わるので、発音練習と意味の確認を行う(図3)。

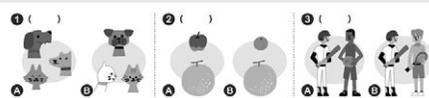
また、予習として生徒はノートの左側に本文を写してきているので、ノートの新出単語の下に意味を書き込みながら発音練習をする(図4)。

そのあと、本文を表示し音読練習に入る(図5)。本文は画面の英文をクリックすると音声が出る。生徒たちはその音声を聞きながら音読練習をする(速度調整・自動または手動での再生が可能である)(図6)。

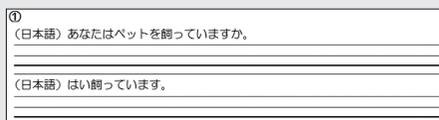
次に英文の意味確認に入る。英文を見ながら「だれが?」「どうした?」「なにを?」「どこで?」「いつ?」と問いかけると、その流れに従って生徒たちが次々と答えていく。和訳するのではなく、英語の語順のまま日本語で意味を確認し、英文が伝える内容を理解できるようにする(画面上に「訳」を表示することもできるので、最後はもう一度和訳をみながら英文の音読をする)。生徒は宿題としてノートの右側に自分のことばで和訳を書くことになっている(ノート提出で確認する)。

### 〔発展〕

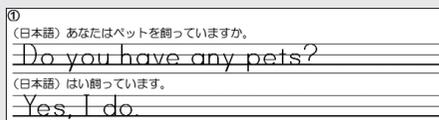
このあとp. 41のActivityに入る(図7)。準備したワークシートを配布し、まず問題の指示に従って答え、正解を確認する。その後、英文を聞きながらその文意を日本語で書き取る(図8)。この段階で英文は書かない。一通り日本語文を書き終えたところで、今度は日本語文を基に英文を作成する(図9)。英文がある程度書けた段階でもう一度英文を聞き、書いた英文と比較して間違っているところや書ききれていないところを修正・加筆する。



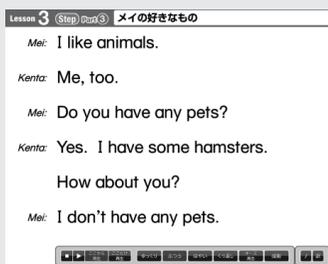
(図7) Activity (p. 41) のイラスト



(図8) 日本語を書き取ったもの



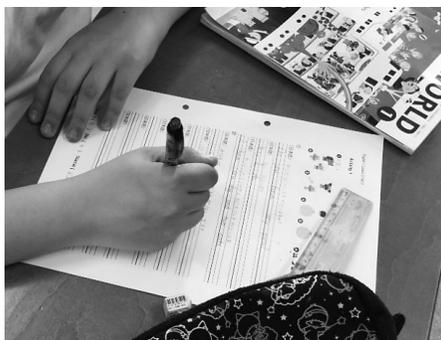
(図9) 書き取った日本語の下に英文を書く



(図5) 本文画面



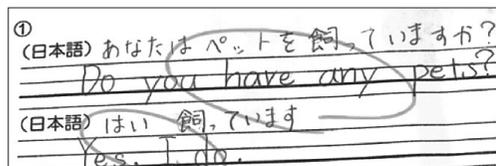
(図6) 本文画面下には、音声コントロールバーがある



(左・図12) ワークシートに書き込む様子。  
(中央・右, 図13・14) リモートマウスを使えば、パソコンで操作するために教卓まで戻らなくて済む。

本校ではiPadの授業支援ソフトとしてロイロノート (Loi-Lo Note : LLN) を導入している。生徒への資料・課題の配布や生徒からの課題提出などWEB環境を利用して双方向的に授業教材のやり取りができる。

Activityの最後の活動として、生徒は修正・加筆したワークシートの写真をiPadで撮り、LLN上に取り込む (図11, 12)。



(図11) カメラ機能で取り込んだワークシートの一部

次に録音機能を利用し、各自音読を画像に貼り付けて指定されたフォルダーに提出する。LLNを使うことによって、教師はWEB上で画像と音声と同時に確認し、授業の有無に関わらず、LLNを通してすぐに生徒に返却することができる。生徒も返却されたワークシートを休み時間や自宅で確認することができる。

### 〔終了〕

本校では教科書準拠の問題集を副教材として利用している。本時の復習としてLesson 3 Part 3の問題を宿題として課し、次の授業で解答確認をすることを告げる。また名詞の複数形の単語表を配布し、次の授業時にテストをすることを予告し授業を終了する。

(不合格者は放課後再テストを受ける。)

### ●リモートマウスの利用

DTはPCにインストールされており、黒板下の差込口につなぐことで天井に設置されたプロジェクターから投影される (図13, 14)。

普段iPadを利用して授業をしていると、教室を自由に動き回ることが普通になり、PC操作のために教卓に留まることに不自由を感じる。そこで私はリモートマウスを使い、iPadを利用するのと同じ感覚で、教室のどこからでもDTを操作し、生徒とのインタラクションを楽しむようにしている。

最後に、前述のようにDTはその効率性はもちろんのこと、拡大表示や電子黒板機能など多様な機能を駆使することで生徒の学ぶ意欲を引き出し、集中力を維持することができる有用なICTツールである。ICT環境は教師がいつでもどこでも生徒個々にアプローチすることを可能にする。教材の回収や返却が効率的に行えることにより、今まで以上に生徒へのケアに時間をかけることができる。今後もこうした環境を活かし、教室をよりよい学びの場にしていきたい。



# ONE WORLD

わたしの使い方

誰にでもわかりやすい  
授業にするために

## はじめに

私は「生徒が落ち着いて熱中できる授業を行うこと」をモットーとしています。そのため、チャイムで授業を開始するなど授業規律を徹底して守らせる、授業パターンを決めて予測がつくようにユニバーサルデザインの手法を取り入れる、英語の歌など生徒が関心を持つ活動を設定する、ペアやグループで助け合いながら内容を深めるように仕向ける、などさまざまな工夫をしています。

八王子市立ひよどり山中学校  
宮崎太樹(みやざきたいき)



## ●レッスン名

2年生Lesson 4 Ms. King's Trip with Her Friend

## ●単元目標

「自分の町」についてスピーチを行うことができる。

## ●指導計画

Day 1-2 : Part 1の本文の音読と言語活動

Day 3-4 : Part 2の本文の音読と言語活動

Day 5 : Part 3の本文黙読と言語活動

**Day 6 : Part 4の本文黙読と言語活動 (本時)**

Day 7 : Task

Day 8 : Part 1とPart 2の本文暗唱

Day 9-13 : スピーチ原稿作成・練習・発表

本時はココ!

## ●授業を始める前に…

本校は習熟度別少人数指導を行っているので、生徒は普段の授業とは異なる席に座る。授業開始5分前までに自分の机に教科書等を置き、前時の宿題を教師に見せることになっている。

## 本時の流れ

### Day 6 Lesson 4 Part 4 (pp. 50-51) の授業

導入 英語の歌、コミュニケーション活動、前時の復習 (10分)

展開 本文の黙読と内容理解と説明 (15分)

発展 本文の音読、言語活動 (20分)

終了 宿題確認 (5分)

## (1) 英語の歌

Mariah Careyの「Hero」を歌う。2年生で学ぶ、willやhave toなどの助動詞、接続詞when, if, 接続詞thatを伴うknow, there + be動詞の文が含まれている。

本校では各学年とも英語の歌で授業を開始する。1曲を1~2レッスン通して、ほぼ毎時間扱う。最初の時間は歌詞の穴埋めをさせてから聞かせて答え合わせをし、2回目からは起立させ通して歌わせる。

歌詞の最初を言って生徒が歌いやすいようにし、ある程度歌えるようになったら、サビの部分でCDプレイヤーの音量を下げて、自分たちでもある程度の音量で歌えるようになったかどうかを確認する。

## (2) コミュニケーション活動

本校では各学年ともほぼ毎時間、英語の歌の後に既習事項を総動員させるような活動を一定期間継続して行っている。

今回は、月・数字・曜日・色・反意語のイラスト



(写真1) 辞書を引けた生徒は起立していく



(写真2) まだ引けていない生徒にヒントを与える

トが描かれたカードをペアの片方がひき、1文で説明し、交代するというを3分間繰り返す。説明の仕方は、以下のようになる。

○月・数字・曜日の例

March : It is the month after February.

○色の例

black : It is the same color as hair.

○反意語の例

up : It is the opposite of down.

なお、これらは定期考査に作文の問題としても出題し、ALTの前で一对一のパフォーマンステストを行い評価する。

### (3) 前時の復習

前時では本文の長いStepの課を扱ったため、暗唱・暗写までは求めず、本文1回と基本文5回をノートに筆写してくる宿題を課した。本時ではその成果を評価するために、基本文のみディクテーションテストを行う。

### (展開)

#### ・本文の黙読と内容理解と説明

Hopの課では、本文はピクチャーカードを用いながら英語で描写・問答・言い換えなどをしながら導入していくが、この課はStepであり、「読む」活動を重視しているので、それらは行わない。

最初に、78単語で構成されている本文を80秒以内で最後まで黙読し、概要を把握することを指示する。都立高校の入試では、合計1200単語の英文を40分間で読み、設問に答える必要があるからである(10分間で行われるリスニングテストを除く)。単純に20分で読み、20分で問題を解くと考えた場合、

1200単語を20分、つまり1分あたり60単語を読めることが最低ラインの速読力であると考えている。また、当然のことながら、生徒がこれから読む英文が、すべて生徒の知っている語句で構成されているとは限らないので、ヒントは与えず、辞書を引いたりペアで相談したりすることも禁止する。10秒ずつ時間を読み上げ、教科書の余白に読み終えるのにかかった時間を記録をさせる。

次に、新出語句と基本文を導入する。一度読んで意味の予測をしているので、日本語で正確な意味を説明したのちに、発音練習を行う。また、必ず1時間に1語は辞書を引かせるようにしている(本校では全学年で自分の辞書を授業に持ってくるようになってきている)。今回は、太字(新出重要語句)の中から特に重要であり、基本文にもある五感動詞のfeelを引かせる。辞書を引けた生徒は起立し、まだ引けていない生徒のところへ行き、ヒントを与え、全員が引き終わるまで待つ(写真1, 2)。最後に起立した生徒に意味を聞いて、全員で辞書に赤線を引くようにしている。

ここでもう一度、黙読を行う。今度は詳細を把握させるために、読み取りのポイントを与える。今回は「この浴場はできてから何年たっていますか」と「空港に行く前に二人は何をしますか」の2点について聞く。生徒は自分の力で黙読しなおし、答えが見つかったら起立する。そして、まだ立ち上がっていない、つまり読み取れていない生徒のところへ行き、ヒントを出す。全員が起立をしたところで答え合わせをし、次の発問に移る。

最後に、本文の説明を行う。初めにCDを聞きながら人さし指で本文を追わせることで、文字と音

を一致させる。続いて、教師が1文ずつ読み上げつつ、日本語で説明をしていく。It looks really old.の文の時には『自己表現お助けブック』（教育出版）p.18で同じ語順で使える動詞を確認させる。辞書のとくとく同様に、見つけたら起立させる。そして、確認したら正の字で、参照した回数を本の余白に記録させる。毎時間、1回はどこかしらの項目を参照させ、繰り返し学習を促進させるようにしている。これ以外にも、The guidebook says it's over 120 years old.の文を説明するときにも『自己表現お助けブック』p.53のL-9を参照させ、think, knowなどのthatを伴う動詞を確認させ、記載のないsayも本に追記させる。

## 〔発展〕

### (1) 本文の音読

前述したように、この課は「読む」活動を重視しているので、Hopの課で行ったような暗唱・暗写までは行わない。表現に慣れ親しめるよう、教師に続いて1文を2回ずつ音読するだけである。

### (2) 言語活動

最初に行うのがListenである。CDを聞かせた後にペアで30秒間、答え合わせではなく、聞き取れた内容の情報交換をさせている。こうすることで、すぐに答えのわかってしまう生徒も解答に関係のない部分まで集中して聞くようになり、また英語が苦手な生徒も確認することができ、より高い聞き取りの力をつけることができる。せつかくの素材なので、答え合わせをした後には必ずシャドーイングをするようにしている。そうすることで次のSpeakにつながる練習にもなる。

Speakでは、最初に例文をCDで聞かせながら意味を確認する。教師について発音させた後に起立させ、ペアで会話をさせる。終わったペアから着席し、Writeとしてノートに会話を書かせる。書き終わったらペアで点検をしてから、教師に提出させる。正しく書いてあれば合格だが、1か所でも間違いがある場合には、できるようになるまで何度もやり直しをさせる。

## 〔終了〕

活動が終わった生徒には以下の課題を出す。

- ①ノートに本文を1回、基本文を5回写す。（これが本時の宿題となる。）
- ②Listenの絵を見ながら、英文をノートに書く。  
（例）Bill looks sleepy.
- ③本文を1ページずつ暗唱し、教師に聞かせ、完全に言えるまで何度も挑戦する。
- ④本文をノートに1ページずつ見ないで書き（暗写）、完全に書けるまで何度も挑戦する。
- ⑤Essentialsの該当ページを以下のようにノートに練習する。
  - 1 PLUS Dialogの文をそのまま写す
  - 2 PLUS Activityの文をそのまま写す
  - 3 Let's Try!を赤シートを使いつつ、答え以外の部分も書く

4 PLUS Dialogの文の単語を入れ替えて書く

5 PLUS ActivityとLet's Try!の英文を5回写す

実際に⑤まで終わる生徒はStepの課ではなかなかいないが、Hopの課では見開きを2時間で扱うので、早い生徒は⑤まで終わることがある。

この授業内の最低限の達成目標は、あくまでもWriteの文が書けるところである。そして、本文と基本文の筆写は宿題である。

しかし、練習した分だけ伸びるのが英語学習なので、時間があれば、授業内でも課題が終わった生徒には前述したように課題を追加する（追加分を家庭で続きを行う義務はない）。

## ●定期考査

このように、授業内で初めて見る英文を自分の力だけで読み解く指導を行っているので、定期考査では必ず、教科書本文とは違った英文の読み取り問題を出題することになっている。

Hopの左ページをAパターン、右のページをBパターン、Stepの2ページをCパターンと呼んでいる。Hopのページについてはこれまでも実践報告や授業公開は多くされているので、今回はあまり紹介されることのないStepをあえて扱ってみた。読者の参考になれば、幸いである。

新連載!

# 英語教育 なんでも相談室

01

ONE WORLDの著者である本多先生が、  
現場の先生方のお悩みになんでもお答えする新連載です。  
第1回目である今回はどんなお悩みが寄せられたでしょうか。

千代田区立九段中等教育学校  
本多敏幸先生

中央教育審議会教育課程部会  
外国語ワーキンググループ委員。  
ELEC 同友会英語教育学会会長、  
英語授業研究会学理事。



今回のご相談

ライティングの指導について悩んでいます。

スペリングや文法・語法の誤りを指摘することで終わってしまい、  
生徒がもっと書きたいと思うような指導が思いつきません。

## 1 ライティングで指導すべきこと

技能（領域）の目標を定める際、「生徒にどのような力を付けさせたいか」と自問自答します。ライティングの場合、以下を最終目標に掲げます。

- ア 100語程度の英作文であればさらさらと時間をあまりかけずに書くことができる。
  - イ 読み手に分かりやすい構成で書くことができる。
  - ウ 文法や語彙の誤りが少ない。主語と動詞がある文を書いている。
  - エ 学習段階に応じて、後置修飾や接続詞を使った複雑な文も書くことができる。
  - オ さまざまな表現を入れて書くことができる。
- これらができるようになるための段階的指導や活動を考えます。

## 2 ライティングの活動

ライティングの活動として思い浮かぶのは和文英訳と自由英作文でしょう。

和文英訳は英文の基礎を養うために必要な練習です。私は、教科書から20くらいの文を選び、和文英訳形式の小テストをよく行います。音読をたくさん行い、正確に言えるようになった文を正確に書けるようにするためです。しかし、和文英訳ばかりではライティングの力は十分に育ちません。生徒自身に書く内容を考えさせた活動を頻繁に取り入れる必要があります。

では、どのような活動を取り入れたらよいのでしょうか。

(1) 単文ではなく2文以上の文を

文法などの指導をする際、よく単文で書かせる指導を目にします。例えば、現在完了形の継続用

法を教えた後、「(東京に)どのくらい住んでいるか」「スポーツや楽器などをどのくらい行っているか」などの課題を与える例です。これ自体は決して悪い練習ではありませんが、これで終えてしまっ  
てはいけません。ONE WORLD English Course 3では次の活動をさせています。

**Speak**

2.  下線部をかえて、あなたのことについて言ってみよう。

① I have been a fan of Arashi for three years.

② I have played the piano since I was eight years old.

③ I have wanted a dog since I was a child.

**Write**

3.  2. で言ったことを1つ取り上げ、例にならって2文で書いてみよう。

例 I have played the piano since I was eight years old.  
I want to be a music teacher in the future.

2. Speakはフォームに慣れさせるためですが、3. Writeでこれに1文を加えさせることで、文と文のつながりを考えさせる活動となっています。2文とも現在完了を使う必要はありません。これまで習った知識を実際に自分で考えて使用させることが大切なのです。

なお、Writing Tips 1 (p. 47) では理由や例の述べ方を示しているので参考にさせてください。

### (2) 構成のしっかりとした文章を

いくら1つ1つの文が正確に書けたとしても、文章構成がよくなければ読み手にとって読みづらい文章となってしまいます。文章構成に慣れるまで、毎回の活動でモデルを示し、それを真似させるとよいでしょう。

私は中学2年生頃から「コンポノート」と名付けた週末課題を行わせています。生徒は配布された「お題」をA4判のノートの上に貼り、その下に文章を書きます。「お題」には文章構成も含めてモデルとなる文章を載せることが多く、生徒はこれを手本にします。

はじめは20~30語程度の文章から始めますが、3年生の終わりには150語程度ならスラスラと書ける生徒も出てきます。

このような自由英作文の課題で教員を一番悩ませるのが添削でしょう。私はすべての誤りを直すことはしません。1つの作品について1~2箇所しか行いません。その代わりに、良い文章の例や他の

### April 24

Do you have any plans for Golden Week?

I have two plans for Golden Week.

First, I am going to meet friends of mine from high school. About 20 old classmates will come and my homeroom teacher will also join us. We will have lunch together, and then we will enjoy karaoke. I'm looking forward to seeing them.

Second, I am going to see a movie. I have not decided what movie to watch yet.

Write about your plans for Golden Week.

### ▲コンポノートのお題の例

生徒にも注意してほしい誤りが含まれる作品を4つほど選び、全文に渡って添削を行い、印刷して全員に配布します。また、同じ誤りがいくつか見られた文法や表現、文章を書くためのコツなども載せています。生徒からはすべての誤りを添削してほしいと要望もありますが、長く続けていくためには教員が無理をしないことが大切だと私は考えます。

コンポノートのお題を教科書の題材と関連させることもあります。たとえば、3年生のLesson 1のPart 4を指導した直後であれば、“My two favorite places in Tokyo”のお題を出します。教科書の題材と関連させることで、教科書に載っている表現や構成を参考にさせたり、内容を深く考えさせたりすることができます。

コンポノートは、1で挙げたア~オのすべての目標を達成するための良い活動だと考えています。実際、「どの活動が英語力を伸ばすのに役立ったか」の生徒による評価の結果では、必ず1位か2位にランクされています。

### 3 さいごに

新学習指導要領では、「正確に書くこと」「まとまりのある文章を書くこと」「社会的な話題に関して考えたことやその理由などを書くこと」などが目標となっています。どの領域でもそうですが、実際に行わせなければ技能を身に付けさせることはできません。帯活動として「文法を教えた後に」「本文を扱った後に」等、ライティング活動を設定できるところはいくつかあるはずですが、ライティング活動を行う目的を考え、その目的を達成するのに効果のある活動を工夫したいものです。

イラスト：深川優

## とっておきの英語 14

津田塾大学大学院  
野田 小枝子

I want you to do whatever you want.  
It is your decision, Michael.  
It's your life.

今回ご紹介するのは、アメリカン・フットボール選手マイケル・オア（Michael Oher）についての実話をもとに作られた映画です。

アメリカン・フットボールはまさにアメリカの大学で一番人気のあるスポーツで、卓越した運動能力のある高校生選手を入学させようと各大学が激しく競い合います。その競争が公平に行われたかどうかを審査するシステムもあるようです。

### 自分の決断

このストーリーの主人公マイケルが、家族として受け入れてくれたテューイ夫妻の母校であるミシシッピ大学からのフットボール奨学金を受けることに決めたとき、NCAA（全米大学体育協会）からの調査官がその選択の公平性について査察に来ます。調査官の質問を受けるうちに、マイケルは自分が夫妻の母校でアメフトの選手になることが、実は最初から仕組まれたことだったのかもしれないと思い始め、悩んで街をさまよいます。

母親として面倒を見ているテューイ夫人（リー・アン）がマイケルを探しに行き、何をしたらよいのか、何をしてほしいのかという疑問をぶつけるマイケルに答えたのが表題のセリフです。

“ I want you to do whatever you want.  
It is your decision, Michael.  
It's your life.

（お母さんは君に）自分のしたいことをしてほしいの。自分で決めるのよ、マイケル。自分の人生なんだから。

テューイ夫妻のしたことはやはり、財力があるというだけではできないことです。暖かい感情が、最後に残ります。

### the blind side

アメフトのルールには明るくありませんが、クォーターバックの利き腕と反対側の死角のことを the blind side と言うそうで、体が大きいレフトタックルがその死角を守る役割を果たします。映画の冒頭でのリー・アンの説明によると、家計で毎月最初に払うのが一番大事な住宅ローン、二番目が保険の掛け金。——クォーターバックとレフトタックルの重要度はそれに似ていて、クォーターバックを予期せぬ危険（the blind side）から必死で守ってくれるのがレフトタックルだそうです。主人公のモデルとなったマイケル・オアも実際に何度もレフトタックルとして活躍しています。映画の中で、マイケルが高校で職業適性検査を受けるのですが、どの項目も点数が低い中で、保護本能（protective instincts）だけはば抜けて高く、上位2パーセントの成績だったというシーンがあり、彼のレフトタックルとしての才能が示されています。

### 現代アメリカの「文化」と「社会」

この映画の中には中学校の授業で使えるようなシーンがいくつもあります。まず、文化的教材になると思われるものです。

一つ目はマイケルが家庭での感謝祭の食事（Thanksgiving dinner）を初めて体験するシーンで

邦題：『しあわせの隠れ場所』  
原題：The Blind Side  
製作国：アメリカ  
製作年：2009年  
監督：ジョン・リー・ハンコック  
主演：サンドラ・ブロック  
DVD：ワーナー・ホーム・ビデオ

アメリカン・フットボール全米代表選手マイケル・オアの実話を映画化。裕福な白人家庭の夫人リー・アンは、過酷な境遇にあった黒人少年マイケルを引き取り後見する。家族の愛情に支えられたマイケルはアメフトの才能を開花、注目選手となっていくのだが…。

す。Norman Rockwellの有名な絵に見入るマイケル。リー・アンがアメフトの試合に夢中の家族をテレビから引き離してテーブルの前に座らせ、Shall we say a grace?と食前のお祈りをする場面です。ホームステイに行く人の多くが体験するシーンかと思えます。お祈りも短くわかりやすいものです。

二つ目は母親に本を読んでもらったことのないマイケルに、リー・アンがほかの子どもたちと一緒にベッドで本を読み聞かせるシーンです。読んでいるのは『牡牛のフェルディナンド』。闘牛として戦うことには興味がなく、花の匂いばかりかいでいる牛の話です。この牛がまるでマイケルのようなというセリフが後で何回か出てきます。この話はアメリカの子どもたちが必ず母親に読んでもらう話の一つですが、英語も大変わかりやすく、要点部分だけが紹介されています。

三つ目、四つ目は社会的教材です。

まず、三つ目は、リー・アンが友人と話をしているシーンです。友人はリー・アンがマイケルを引き取って一緒に生活していることについて、「マイケルはタコ・ベル（リー・アンの夫が広範囲に経営するファースト・フード・チェーン）で割引使ってるの？ そうなら何店舗かつぶれるわね。」「白人であることに良心の呵責を感じてやってるわけ？」「お父様が聞いたら何ておっしゃるかしらね。」「お嬢さんのこと全然心配じゃないの？」などと、勝手なことを言います。その中で、次のやり取りが心を打ちます。

“ Friend: Honey, you're changing that boy's life.  
Leigh Anne: No. He's changing mine.

四つ目は家庭教師ミス・スー（キャシー・ペイツ）が面接にやって来た時のやり取りのシーンです。

“ Miss Sue: Ms.Tuohy... Umm... There's something you should know about me...  
Leigh Anne: What is it?  
Miss Sue: I'm a Democrat.

この話の設定はテネシー州メンフィスです。このようなやり取りが相手を驚かせるジョークとして取り入れられることから、テネシー州の白人富裕層にも共和党支持者が多いことがうかがわれます。

五つ目はアメリカの高校での成績についての会話のシーンです。たとえアメフトのようなスポーツ入学者についても成績の条件があり、GPA（grade point average）が2.5以上なければ受け入れてもらえないと話しているところがあります。2.5というのはBとCが半々くらいでAがないといった成績です。家庭教師が来る前のマイケルの成績は1.76でした。これはCとDが混在しているけれども、少しだけCが多いという成績です。数字の聞き取りだけでも「成績トーク」が体験できます。

非常に残念なことながらマイケル・オアは2017年4月に運転手と口論、殴ったことで起訴されており、7月に裁判を控えています。有名人として自分の社会的blind sideは自分で守るしかないようです。

（写真：PPS 通信社）

# Sharing? Or Oversharing?

Peter J. Collins  
Tokai University

今ドキ

英語事情 16

さまざまなテーマについて、辞書に載っていないような、今ドキの英語について紹介する連載です。今号はSNS疲れについて。

One of my morning routines involves sitting down in front of my computer with a cup of coffee and opening up Facebook to see what my friends, family, and colleagues have been up to for the last 24 hours. Hey, I see my niece has just started a part-time job at a library; that sounds perfect for her! Automatically, I click **Like** and continue scrolling. I see that a colleague has just gotten back from a conference in Sapporo; the pictures of his presentation are nothing special, but I click **Like** once more.

But what's this? My old college roommate Kevin has had surgery on his foot? That awful photo of his foot bruised and bandaged – why would he post such a thing? I hurriedly scroll past it... only to run across my friend Bob's latest post updating everyone on his messy divorce proceedings. His personal business isn't really what I wanted to read about at 7:00 in the morning.

I understand the appeal of **curation** in a Facebook or Instagram or even a Twitter feed. To "curate" something means to care for it; a museum curator, for example, oversees the museum's collection and makes decisions about how to present it. When people post updates on the renovation of their dining room, photos of their honeymoon, or a video of their child's piano recital, they're **curating their lives**. In other words, they're making decisions about what to include in their "collection" and hoping it will leave a specific impression on

## **curation:**

情報を収集、編集し、公開すること。

## **curating their lives:**

自分の生活の中で、何を発信するか取捨選択し、SNSを通じて公開すること。

people following them.

As the years go by, many of my friends post less and less, and so do I. Perhaps we're all experiencing **Facebook fatigue**, a condition recognized at least five years ago. In 2012, researchers conducted a telephone survey of 1,006 representative Americans and found that 61% of them had taken weeks-long breaks from Facebook. Reasons included a wish to escape negative comments and online drama between friends; others complained about how tedious it was to read everyone's personal posts.

Clearly, however, Kevin and Bob are not experiencing Facebook fatigue. On the contrary, they're **oversharing** as much as they ever have. Oversharing used to mean simply revealing information that the listener or reader didn't particularly need – or want – to have. These days, however, SNS and other forms of communication technology allow for continual oversharing with a wide range of people. Bob, for instance, has over 800 Facebook "friends," but I doubt that he's met them all face to face. Still, he's quite comfortable posting all kinds of things, from how much weight he's gained this year to the cost of his son's piano lessons.

"**TMI!**" is what I would post on Bob's Facebook feed if I were braver: too much information! This acronym originated back in the 90s, but has taken on more significance as people have started sharing (perhaps oversharing) more and more of their private lives.

It may be time for me to change my morning routine, at least for a while... A good magazine article might go better with that morning coffee!

**Facebook fatigue:**

Facebook疲れ(積極的にはFacebookを活用しなくなること。)

**oversharing:**

共有しすぎ。

**TMI:**

情報過多。(Too Much Informationの略。)



第15回

まもなく締め切り!!

# 地球となかよし メッセージ 作品募集 (2017年度)

「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたことを、  
写真(またはイラスト)にメッセージをつけて表現してください。

応募者全員に  
参加賞が  
もらえるよ!

応募資格	小学生・中学生(数名のグループ単位での応募も可)
応募期間	2017年7月1日～9月30日 詳細は「優秀作品展示室」とあわせてホームページをご覧ください。
作品 テーマ	①身のまわりの自然が壊されている状況を見て感じたことや、自然環境や生き物を守るための取り組み ②さまざまな人との出会いを通して、友好の輪を広げた体験、異文化交流、国際理解に関すること ③その他、「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたこと

◎主催/教育出版 ◎協賛/日本環境教育学会  
◎後援/環境省、日本環境協会、全国小中学校環境教育研究会、毎日新聞社、毎日小学生新聞

応募の決まりなど詳しくはホームページを見てね

<http://www.kyoiku-shuppan.co.jp/>

**教育出版**

「地球となかよし」事務局

TEL 03-3238-6862 FAX 03-3238-6887  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10

入選作品  
前回



## ツバメに借家

去年から、うちの外灯の上にツバメが巣を作るようになりました。実はツバメが下見に来た時、巣を作らせないようにビニールをかぶせました。しかし、新聞で「都市部のツバメの子育て受難」の記事を読み、ビニールははずしました。ふんで玄関が汚れないように外灯にラップをかけ、下にカゴをつけ、新聞紙をひいて受け入れました。ヒナの成長を観察、見守ることができてとても幸せな気分になりました。

英語教育 通信 ONE WORLD Info (2017年 秋号) 2017年8月31日 発行

編集: 教育出版株式会社編集局 発行: 教育出版株式会社 代表者: 山崎富士雄  
印刷: 大日本印刷株式会社 発行所: 教育出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 電話 03-3238-6864 (お問い合わせ)  
URL <http://www.kyoiku-shuppan.co.jp>



なかよし宣言

わたしたちをとりまく自然や社会は、科学技術の進展や国際化、情報化、高齢化などによって、今、大きく変わろうとしています。このような社会の変化の中で、人間や地球上のあらゆる命がのびのびと生きていくためには、人や自然を大切にしながら、共に生きていこうとする優しく大きな心をもつことが求められています。

わたしたちは、この理念を「地球となかよし」というコンセプトワードに込め、社会のさまざまな場面で人間の成長に貢献していきます。

- 北海道支社 〒060-0003 札幌市中央区北三条西3-1-44 ヒューリック札幌ビル 6F  
TEL: 011-231-3445 FAX: 011-231-3509
- 函館営業所 〒040-0011 函館市本町6-7 函館第一ビルディング 3F  
TEL: 0138-51-0886 FAX: 0138-31-0198
- 東北支社 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F  
TEL: 022-227-0391 FAX: 022-227-0395
- 中部支社 〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-40 カジウラテックスビル 5F  
TEL: 052-262-0821 FAX: 052-262-0825
- 関西支社 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル 7F  
TEL: 06-6261-9221 FAX: 06-6261-9401
- 中国支社 〒730-0051 広島市中区大手町3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F  
TEL: 082-249-6033 FAX: 082-249-6040
- 四国支社 〒790-0004 松山市大街道3-6-1 岡崎産業ビル 5F  
TEL: 089-943-7193 FAX: 089-943-7134
- 九州支社 〒812-0007 福岡市博多区2-11-30 クレセント東福岡 E 室  
TEL: 092-433-5100 FAX: 092-433-5140
- 沖縄営業所 〒901-0155 那覇市金城3-8-9 一粒ビル 3F  
TEL: 098-859-1411 FAX: 098-859-1411